

(社)都市住宅学会大会(中部) メインシンポジウム・公開市民フォーラム

「環境と共生する住まいと暮らし」

主催：(社)都市住宅学会

都市住宅学会では毎年11月に全国大会を行っており、本年度は名城大学天白キャンパスで開催します。そして、そのメインイベントとして、表記のシンポジウムが行われます。

都市住宅学会員以外の方にも広く公開されたものですので、ぜひご参加ください。

1 と き 2009年11月28日(土) 15:30~18:00

2 と ころ 名城大学天白キャンパス 共通講義棟南 1階 101講義室
(会場へのアクセスは次ページ参照)

3 内 容

●テーマ：「環境と共生する住まいと暮らし」

●主旨

現在、資源・エネルギーを大切にし、自然環境との共生を目指す社会へと転換しています。住宅の分野においても、ストックをリフォームして活用する方向、温熱環境を重視した材料と工法、環境対応した設備の奨励など、大きく変化しつつあります。

中部圏内で行われている独創的・個性的な取り組みから、①自然エネルギーを活用する各種の設備を利用しながら緑と共生する、住宅とエコロジー関連事務所が入居した都市型環境共生ビルの計画と、②都市郊外の里山という自然環境の中で、戸建て住宅の居住者が集まり、生態系を生かした生活を行っている事例から、現状と成果をご報告いただき、わが国の現状を把握します。また、③先進的に自然環境の保護に取り組んで、積極的な環境関連法を制定し、エコロジーに配慮した適度な成長を目指す社会システムと経済システムを確立し、技術的な成果を適用して各種の自然共生型住宅を開発しているドイツの実態についてのご紹介をいただき、比較・検討します。

その後、家族関係の立場からと、自然を意識した建築設計の立場からのコメントをいただき、環境共生住宅が目指す生活と住宅のあり方、それを実現する方策などについて、総合的に考えてみたいと思います。

環境に関心を持たれる一般のみなさまのご参加も、お待ちしております。

●パネリスト

牧村 好貢 (エコソリューションズネットワーク代表)

荒井 好和 (南山大学経済学部教授)

水原 渉 (滋賀県立大学環境科学部教授)

●コメンテーター

大杉 麻美 (明海大学不動産学部教授)

笠嶋 淑恵 (笠嶋建築工房代表)

●コーディネーター

曾田 忠宏 (元・愛知工業大学建築工学科教授)

●参加費等：参加費無料、事前申込み不要

